



今年度の「振り返り」と 次年度の「目標設定」を

今年度も残り一週間となり、どの学年も「総まとめテスト」や「復習プリント」で総復習をしています。お子さんがテストを持ち帰りましたら、点数の確認だけでなく、①どの教科・領域・問題でつまづいているのか、②どんな解答間違いがあるのか、一緒に振り返ってあげてください。定期テストが実施されない小学校では、「まとめの学習＝復習やテスト勉強」を計画的に進める機会が少ないため、学力の確実な定着につながりにくい傾向が見られます。

3学期末～春休みは、1年間の復習をする絶好のチャンス！ お子さんに合った学習方法・ペースで、1年間の総復習に挑戦させましょう。

通知表「あゆみ」について

2学期までと異なる点



○3学期だけ評価・記入する項目

*総合的な学習の時間（3～6年）、道徳(全学年)：文章記述で評価します。

○評価の観点および年間評定

*3学期の「学習のようす」には、3学期評価の右横に「年間評価（◎・○・△）」と「年間評定（1～3）」が記載されます。ただし、1・2年生については観点別評価のみで、年間評定（1～3）を記載しません。

年間評価と評定

【3学期】

教科	観 点	学 習 の め あ て	評 価	年 間 評 価	年 間 評 定
国 語	知識・技能	言葉や文字、語句の性質や役割などを理解し、文章全体の内容を意識しながら音読する。	◎	◎	3
	思考・判断・表現	【話すこと・聞くこと】 話の中心が明確になるように話したり、聞きたいことを中心をとらえて聞いたりする。	◎	◎	
		【書くこと】 相手や目的を意識して、内容の中心を明確にして、自分の考えを書く。	◎	◎	
		【読むこと】 段落相互の関係や登場人物の気持ちの変化など、内容の中心をとらえて読む。	◎	◎	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、進んで思いや考えを伝えようとする。	◎	◎	
書写	文字の形、大きさ、配列に注意して、形を整えて正しく書く。	◎	◎		
社 会	知識・技能	身近な地域や市区町村の地理的環境、安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活について理解し、必要な情報を調べまとめる。	○	○	2
	思考・判断・表現	課題： に向けて	○	○	
	主体的に学習に取り組む態度	解決： としての	○	○	
算 数	知識・技能	関係を	△	△	1
	思考・判断・表現	表現	△	△	
	主体的に学習に取り組む態度	よさに気付き、生活や学習に活かそうとする。	△	△	
知識・技能	自然現象について理解し、調べた過程や結果を分かりやすく表現する。	◎	◎		

※通知表（あゆみ）は評価の一部です。がんばったことや課題だと思えることをお子さんから直接聞き、しっかり褒め、認めてあげてください。子どものやる気を引き出すチャンスです。



Have a nice spring vacation! よい春休みを

令和5年度が間もなく終わります。卒業式、修了式が終われば、待ちに待った春休み。学校が休みになる開放感から、つい気が緩みがちな春休みですが、この時期は交通事故や犯罪などのトラブルに巻き込まれやすい時期でもあります。

本校では、3学期の個別懇談会を行っていませんので、家庭で特に気をつけていただきたいことを「たきのやっこ 春休みのくらし」にまとめ、配布します。親子そろって読んでいただき、安全で充実した春休みになりますようご配慮ください。

1 「たきのやっこ 春休みのくらし」を親子で読んで、確認する

①交通安全に留意して、事故や怪我のない春休みに。

②「知らない人について行かない」「不審な人を見かけたら、すぐに大人に報告する」

※この点を特に徹底させましょう。合い言葉は、「いかのおすし」です。

※不審者については、速やかに警察・学校へ連絡してください。すばやい対応が、解決につながります。

※出かける時には、「どこに行くのか」「誰と行くのか」「いつ帰るのか」を、家の人にしっかり伝える習慣をつけさせましょう。

※帰宅時間を守ることや、友だちの家に行くときはマナーを守ることなど、社会生活を送る上で大切なことを、少しずつ教えていきましょう。



2 「春休みのくらし点検表」を活用して、計画的な春休みに

①今年度使用した教科書やノート、プリントなどの整理をさせましょう。

※テストやノート、プリントは大切な学習の記録です。必要な物は綴じる、不要な物は捨てるなど、親子で一緒に整理しましょう。

※教科書の中には、次年度も続けて使用するものがあります。

②「そうあんくんの日」の実践を春休みに活かしましょう。

「そうあんくん新聞」を拝見すると、親子で話し合ったり工夫したりしながら、お手伝いや自主学習、ノーメディアに取り組んでいただいている様子が伝わってきます。さすがに、毎日「ノーメディア」というわけにはいきませんが、親子で日にちを決めて、何日か取り組んでみてはいかがでしょうか。



【保護者の皆様へ】お願いしたいこと

未成年の子どもにゲームやスマホを持たせる場合、保護者には「使用のマナーやルール」を指導し、守らせる責任および義務があると考えています。ゲームやスマホなどのネット通信機器には、依存症になる恐れや触法行為に発展する危険が潜んでいます。メディアには光と影の両面があることを理解させ、上手な付き合い方ができる子どもに育てていきたいですね。

対策としては、①フィルタリングをかける ②どんな動画を視聴しているか、どんな内容のゲームをしているかを確認する ③時間やマナーなどのルールを決め、守らせる ④寝る前は決めた場所にゲームやスマホを置く（寝る部屋に持ち込まない）などが考えられます。

長期休業中は、テレビや動画の長時間視聴についても要注意です。3月11日付けの「ほけんだより」でも、長時間の視聴が健康に与える影響についてふれていますのでご一読下さい。